



大阪経済法科大学

Keiho

vol.
27

2023年8月15日発行

経法のこと、誰かに話したくなる校友会報



CONTENTS



- 1 会長・副会長挨拶
- 3 学長挨拶
- 4 第13期大阪経済法科大学校友会役員
- 5 2022年度校友会事業報告・収支決算
- 6 2023年度校友会事業計画・収支予算
- 7 支部長自己紹介
- 9 校友インタビュー
- 13 校友インタビュー・NEWS&お知らせ
- 14 2023年9月の総会案内
- 15 校友会公式SNSアカウント

校友会Web
詳しくは
こちらから



Our Message

校友会会長
伴井 敬司

法学部 1期生



校友会の皆様におかれましてはご健勝にてご活躍のことと存じます。新型コロナウイルスの流行から3年以上が経過し、行動制限により抑圧されてきた社会も活気を取り戻しつつあります。校友会活動におきましても、この春より、支部総会等の開催がこれまで通りの形式で可能となりました。校友の皆様にも、是非積極的にご参加いただきたいと思えます。

大阪経済法科大学校友会は、1999年6月に設立され、年1回の校友会総会の開催、校友会報の発行、各支部の活動支援、種々の在学生支援等の事業活動に努めて参りました。この間、多くの校友会員（卒業生、教職員、在学生）のご協力、ご支援により、校友会の基盤が整備され、少しずつではありますが、多様な校友会活動が出来るようになってきたと自負しております。

今後も校友会へのさらなるご支援、ご協力を賜りますよう、校友会役員共々よろしくお願い申し上げます。

副会長
阪本 誠

経済学部 4期生



伴井会長より、副会長を拝命致しました阪本誠です。組織部会を担当させていただきます。宜しくお願い致します。大阪経済法科大学校友会が設立され24年になります。現在、校友会支部は10支部ありますが、大阪支部はありませんでした。本部事務局は花岡キャンパス本部棟内にあります。大阪支部の件、校友の皆様からお問合せをいただいております。

そこで今年度、校友会組織部会の事業計画として、大阪支部立上げに向けた準備委員会を間もなく立ち上げます。大阪在住、又は勤務されている大阪経済法科大学卒業生、校友の皆様へDM・mail・Facebook等を通じてご案内させていただきます。ご案内が届きましたら、皆様のご理解やご協力等、お力添えいただけましたら幸甚に存じます。会員の皆様に楽しみにしていただける校友会になるよう、全力で取り組んで参ります。校友会活動の目的は、①校友相互の親睦を深める ②大学の発展に寄与する ③在学生支援です。今後とも宜しくお願い致します。

輪のひろがり

副会長
栞田 博昭

法学部 3期生



法学部3期生、今期より校友会副会長を拝命しました広島支部長の栞田博昭です。

学生時代は硬式野球部に在籍しておりましたが、小生は常に「和と協調」をもって事を成す事を旨としてきました。公的にも私的にも人の意見を聞き自分の意見と合わせ、同じ方向に向くように心がけ、これまでの人生を歩んできました。校友会も幅広い年齢層になってきましたが、より多くの校友参加の下、校友会をより発展させるようご協力お願いします。

懸け橋となる

副会長
山下 浩希

法学部 10期生



この度、副会長を拝命しました法学部10期生の山下浩希と申します。伴井会長の下、円滑な会運営はもとより校友の輪をさらに広げるため、広報担当として校友会活動や全国で活躍している校友を取り上げて発信し、校友相互の交流の懸け橋になることが出来るよう、務めて参ります。御指導どうぞよろしくお願い致します。

The Future is Calling.

明るい未来に向かって変貌しつつある姿

校友会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また日頃より、本学教育・研究活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学は、1971年の創立時に「経済と法律が社会の両輪」「実学の精神」「人権の伸長と国際平和への貢献」を建学の理念に掲げ、開学から現在まで50年以上にわたり、建学の理念を実現するため発展し続けてきました。経済学部と法学部から始まった本学は現在、経済学部220名、経営学部220名、法学部260名、国際学部200名の入学定員900名規模の大学に発展しています。

2020年のはじめから新型コロナウイルス感染症という世界規模の危機に見舞われ、教育や社会生活の様相は一変しました。このような状況下において、全学をあげて教学の刷新として「学修者本位の教育」とは何かを改めて熟考し、教育と卒業の質保証に全教職員が一丸となって取り組みました。この「学修者本位の教育」においては、専攻重視の教育により入学した学生たちの力を確実に一定水準まで引き上げ、学修・研究の集大成となる卒業論文集を完成させ、大学推奨資格（社会的信用の高い中堅資格）を1つ以上取得し、その知識とスキルを活かした就職へと繋げることをゴールとしています。その結果、本学教育特色や実績に対し、高校から「学生を鍛え、伸ばす」大学としての定評を得つつあります。

また、教育の質的向上を目指し本学は徹底した少人数教育を展開しております。充実した教員体制や学修

支援体制を整えており、教職員全員が学生一人ひとりの成長と真摯に向き合い、各学部の専門学修を徹底しているからこそ、「社会や未来が求める人材」を輩出し続けていけると自負しています。

加えて、本学ではコロナ禍にあっても、2021年9月にサンフランシスコ州立大学に18名の学生を派遣し、2022年度にも53名の学生を派遣するなど、海外派遣の再開をいち早く果たしており、本年度も100名以上の海外派遣を計画しております。

上記のような教育活動の結果として、昨年度の公務員合格者は97名と過去最高の実績を残すことができ、公務員就職率では関西私立大学で2位となりました。また、この3年間で卒業生11名が司法試験に合格、3名が公認会計士試験に合格したほか、大阪府内の私立大学の就職率ランキングでは、常に2位、3位を維持しています。

また、充実したキャンパスライフの実現に向け、課外活動の活性化にも着手しております。花岡キャンパスグラウンドの人口芝をはじめ、各種施設・設備の改修を行うと併し、クラブ・サークル活動の活性化を図る課外活動アクションプランを始動しており、学生一人ひとりが自らの成長を実感し、学園生活に対する満足感や充実感、期待感を高め、特色ある中堅大学に相応しいキャンパスライフを実現することを目指しています。同プランは進行中ですが、これまでに、クラブ・サークル加入率は前年度比9.2ポイント増となり、新規に10団体のサークルが設立されるなど順調な経過を見せています。

大阪経済法科大学 学長 中井 英雄



これまで予想もしなかった難題が世界で次々と起こる激変の時代において、私たちはこれからも教育研究や社会との連携などにおいて、建学の理念を実現するため、あらゆる可能性を追求していきたいと考えております。校友会の皆様におかれましては今後とも、後輩たちのためにご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが本学は、教育重視の「硬派な」大学に変貌しつつあります。すでに校友会会員の皆様には多大なるご支援をいただいておりますが、大阪経済法科大学の「明るい未来に向かって変貌しつつある姿」を引き続き暖かく見守っていただければ、幸いに存じます。

第13期 大阪経済法科大学校友会役員

第13期 役員 任期：2023年4月～2025年3月(2年間)

役職	氏名	備考	人数		
顧問	中井 英雄 (特別顧問) ※	学長	1名		
会長	伴井 敬司	1期生	1名		
副会長	阪本 誠	4期生	3名		
	柘田 博昭 (広島支部長)	3期生			
	山下 浩希 (石川支部長)	10期生			
常任幹事	濱口 元洋 (三重支部長)	7期生	12名		
	中村 和義	9期生			
	中津 広志	13期生			
	新里 靖 (沖縄支部長)	14期生			
	三戸 泰樹	20期生			
	小林 保重	22期生			
	石山 陽浩	25期生			
	濱田 亜紀	27期生			
	山内 綾	29期生			
	安田 貴則	29期生			
	富山 源太郎	32期生			
	丸井 龍夫 ※	退職職員			
	幹事	中須 秀治		1期生	20名
		八瀬林 肇		6期生	
石塚 央 (香川支部長)		6期生			
元成 栄次郎		7期生			
前吉 克明		8期生			
岩井 司 (高知支部長)		10期生			
岸 泰至 (愛知支部長)		12期生			
柴田 剛		14期生			
江川 充彦		17期生			
入嶋 修一 (福岡支部長)		20期生			
福岡 慎吾 (東京支部長)		20期生			
木皮 真理		21期生			
出口 寛		22期生			
山崎 亮介		33期生			
大平 晋司 (岡山支部長)	36期生				
山口 秀哉	37期生				
花田 徹	37期生				
鎌田 松輝	48期生				
春山 勝哉 ※	庶務課長				
橋本 久 ※	退職教員				
会計監査	吉田 隆顕	31期生	2名		
	岸本 香菜子	35期生			
合計			39名		

※：特別会員

新幹事挨拶

3年余り続いたコロナ禍もようやく収束の兆しが見えてきました。大阪経済法科大学校友会は来年結成25年を迎えます。コロナのために制限されてきた校友会活動を校友の皆様とともに大きく飛躍させていきましょう。

常任幹事
丸井 龍夫



平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。この度、山下様・富山様に推薦いただき、幹事に就任させていただきました。木皮真理と申します。まだまだ未熟者でございますが、微力ながら校友会の発展のため努力致します。今後とも一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

幹事
木皮 真理
経済学部 21期生



この度、幹事に就任させていただきました。法学部36期生の大平晋司です。岡山支部の支部長と兼務になりますが、頑張らせていただきますのでよろしくお願い致します。

幹事
大平 晋司
法学部 36期生



2022年度 事業報告・収支決算

2023年度 事業計画・収支予算



2022年度 大阪経済法科大学校友会 収支決算書
(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

■収入の部 (単位:円)

項目	予算額	執行額	増減額	増減比率(%)
1. 校友会費				
準会員	17,500,000	18,570,000	1,070,000	6.1%
正会員	300,000	320,000	20,000	6.7%
特別会員	200,000	0	-200,000	-
2. 総会・懇親会参加費	500,000	0	-500,000	-
3. 受取利息	500	20	-480	-96.0%
4. その他収入	0	0	0	-
小計	18,500,500	18,890,020	389,520	2.1%
前年度繰越金	38,195,716	38,195,716	0	0.0%
収入の部合計	56,696,216	57,085,736	389,520	0.7%

■支出の部 (単位:円)

項目	予算額	執行額	増減額	増減比率(%)
1. 総会				
総会等運営費	4,000,000	1,819,625	-2,180,375	-54.5%
旅費交通費	1,000,000	0	-1,000,000	0.0%
印刷製本費	1,200,000	125,400	-1,074,600	-
通信費	2,000,000	2,116,640	116,640	-
	8,200,000	4,061,665	-4,138,335	-50.5%
2. 幹事会				
会議費	400,000	197,822	-202,178	-50.5%
旅費交通費	1,500,000	1,014,530	-485,470	-32.4%
部会活動費	100,000	0	-100,000	-100.0%
	2,000,000	1,212,352	-787,648	-39.4%
3. 支部活動等支援				
会議費	600,000	70,000	-530,000	-88.3%
旅費交通費	1,200,000	631,270	-568,730	-47.4%
活動援助費	1,200,000	1,000,000	-200,000	-16.7%
支部設立準備費	200,000	0	-200,000	-
	3,200,000	1,701,270	-1,498,730	-46.8%
4. 会報・広報				
印刷製本費	1,200,000	935,272	-264,728	-22.1%
通信費	2,000,000	2,209,098	209,098	10.5%
報酬委託手数料	2,100,000	1,049,024	-1,050,976	-50.0%
	5,300,000	4,193,394	-1,106,606	-20.9%
5. 学生支援				
卒業記念品費	1,700,000	732,600	-967,400	-56.9%
卒業祝賀企画費	1,000,000	0	-1,000,000	-
経法祭支援費	600,000	531,726	-68,274	-11.4%
学生活動援助費	0	0	0	-
在学生支援費	5,500,000	600,000	-4,900,000	-89.1%
	8,800,000	1,864,326	-6,935,674	-78.8%
6. 共通・事務費				
印刷製本費	120,000	97,755	-22,245	-18.5%
消耗品費	60,000	50,037	-9,963	-16.6%
通信費	600,000	244,005	-355,995	-59.3%
報酬委託手数料	10,000	6,420	-3,580	0.0%
人件費	1,500,000	1,613,873	113,873	7.6%
渉外費	20,000	0	-20,000	-100.0%
雑費	20,000	16,800	-3,200	-16.0%
	2,330,000	2,028,890	-301,110	-12.9%
7. 予備費	13,600,000	0	-13,600,000	-100.0%
	13,600,000	0	-13,600,000	-100.0%
小計	43,430,000	15,061,897	-28,368,103	-65.3%
次年度繰越金	13,266,216	42,023,839	28,757,623	216.8%
支出の部合計	56,696,216	57,085,736	389,520	100.7%

1. 総会の開催

開催日：9月3日(土)

シェラトン都ホテル大阪と

WEBのハイブリッド開催

千房(株)代表取締役会長 中井政嗣氏講演

2. 幹事会・常任幹事会の開催

(1) 幹事会の定例開催

第1回 4月16日(土) たかつガーデン

第2回 7月9日(土) たかつガーデン

第3回 9月3日(土) WEB審議

第4回 10月10日(月) WEB審議

第5回 1月14日(土) 梅田センタービル

第6回 2月19日(日) WEB審議

第7回 3月26日(日) WEB審議

(2) 常任幹事会の開催

第1回 4月2日(土) WEB審議

第2回 6月25日(土) たかつガーデン

第3回 10月1日(土) WEB審議

第4回 12月11日(日) WEB審議

第5回 3月19日(日) WEB審議

3. 地域支部活動

高知支部総会12月20日

支部活動援助費の交付

4. 広報の充実

会報の第26号発行(12月18日)

公式YouTubeチャンネルを開設

5. 在学生支援

経法祭への参加及び支援

卒業記念品贈呈



2023年度 大阪経済法科大学校友会 収支予算書
(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

■収入の部 (単位:円)

項目	2022年度 予算額	2023年度 予算額	増減額	増減比率(%)
1. 校友会費				
準会員	17,500,000	19,000,000	1,500,000	8.6%
正会員	300,000	300,000	0	0.0%
特別会員	200,000	200,000	0	-
2. 総会・懇親会参加費	500,000	500,000	0	-
3. 受取利息	500	500	0	0.0%
4. その他収入	0	0	0	-
小計	18,500,500	20,000,500	1,500,000	8.1%
前年度繰越金	38,195,716	42,023,839	3,828,123	10.0%
収入の部合計	56,696,216	62,024,339	5,328,123	9.4%

■支出の部 (単位:円)

項目	2022年度 予算額	2023年度 予算額	増減額	増減比率(%)
1. 総会				
総会等運営費	4,000,000	4,000,000	0	0.0%
旅費交通費	1,000,000	1,000,000	0	0.0%
印刷製本費	1,200,000	1,200,000	0	-
通信費	2,000,000	2,000,000	0	-
	8,200,000	8,200,000	0	0.0%
2. 幹事会				
会議費	400,000	400,000	0	0.0%
旅費交通費	1,500,000	1,500,000	0	0.0%
部会活動費	100,000	100,000	0	0.0%
	2,000,000	2,000,000	0	0.0%
3. 支部活動等支援				
会議費	600,000	600,000	0	0.0%
旅費交通費	1,200,000	1,200,000	0	0.0%
活動援助費	1,200,000	1,200,000	0	0.0%
支部設立準備費	200,000	200,000	0	-
	3,200,000	3,200,000	0	0.0%
4. 会報・広報				
印刷製本費	1,200,000	1,200,000	0	0.0%
通信費	2,000,000	2,000,000	0	0.0%
報酬委託手数料	2,100,000	2,100,000	0	0.0%
	5,300,000	5,300,000	0	0.0%
5. 学生支援				
卒業記念品費	1,700,000	1,700,000	0	0.0%
卒業祝賀企画費	1,000,000	1,000,000	0	-
経法祭支援費	600,000	600,000	0	0.0%
学生活動援助費	0	0	0	-
在学生支援費	5,500,000	1,500,000	-4,000,000	-72.7%
	8,800,000	4,800,000	-4,000,000	-45.5%
6. 共通・事務費				
印刷製本費	120,000	120,000	0	0.0%
消耗品費	60,000	60,000	0	0.0%
通信費	600,000	600,000	0	0.0%
報酬委託手数料	10,000	10,000	0	0.0%
人件費	1,500,000	1,500,000	0	0.0%
渉外費	20,000	20,000	0	0.0%
雑費	20,000	20,000	0	0.0%
	2,330,000	2,330,000	0	0.0%
7. 予備費	13,600,000	2,000,000	-11,600,000	-85.3%
	13,600,000	2,000,000	-11,600,000	-85.3%
小計	43,430,000	27,830,000	-15,600,000	-35.9%
次年度繰越金	13,266,216	34,194,339	20,928,123	157.8%
支出の部合計	56,696,216	62,024,339	5,328,123	109.4%

1. 総会の開催

開催日：9月16日(土)

会場：シェラトン都ホテル大阪

2. 幹事会・常任幹事会の開催

(1) 幹事会の定例開催

第1回 5月20日(土) ホテルセイリユウ

第2回 7月29日(土) たかつガーデン

第3回 9月16日(土) シェラトン都ホテル大阪

第4回 11月

第5回 2月

(2) 常任幹事会の開催

第1回 5月7日(日) WEB審議

第2回 7月9日(日) WEB審議

第3回 随時

第4回 随時

第5回 随時

3. 地域支部活動

支部総会の開催

支部活動支援

新支部設立

4. 広報の充実

会報の第27号発行(8月)

SNS等で随時ニュースを配信

5. 在学生支援

学生団体主催行事(経法祭等)への支援

卒業祝賀企画の実施

沖縄支部長 新里 靖

支部長の新里靖（シンザトオサム）
経済学部 14 期生です。
学生時代は、体育会陸上競技部、
奄美沖縄会ソフトボール同好会に所属していました。
日本の最南端に位置する沖縄支部では、支部総会、イベント、ボ
ランティア活動等さらにパワーアップし、楽しく笑顔あふれる支
部活動が出来るよう、支部役員一同頑張っていきたいと思ひます。
校友会員の皆様もお気軽にご参加よろしくお願い致します。



広島支部長 栢田 博昭

法学部 3 期生、広島支部長の栢田博昭です。
学生時代は硬式野球部に在籍しておりましたが、
小生は常に「和と協調」の精神を第一にして
きました。広島県は西日本で最も多くの経法大卒業生を輩出してお
ります。今年度から校友会副会長も拝命し、幅広い年齢層になっ
てきた校友会が、老若男女を問わず、一人でも多くの校友参加の
下、大きく発展していくよう微力ながら尽力して参ります。広島在住、
出身の校友のご参加をお待ちしています。



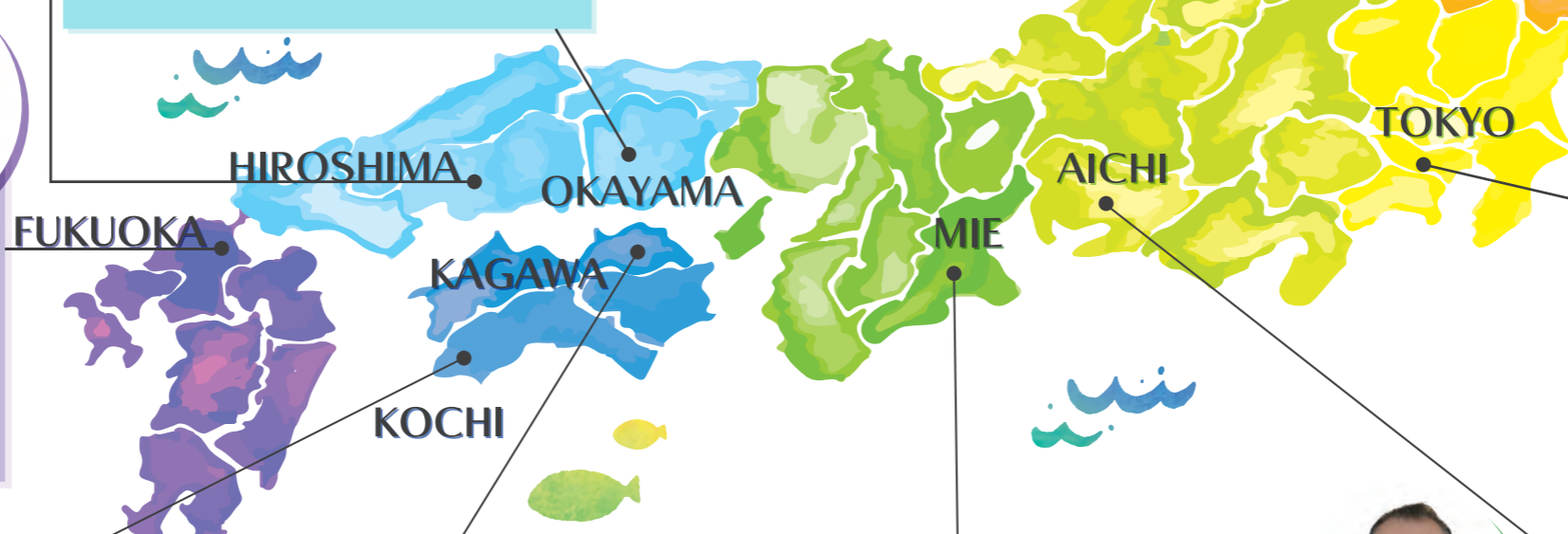
石川支部長 山下 浩希

石川支部長の法学部 10 期生の山下浩希です。
1961 年石川県白峰村（現白山市）生まれです。
石川県立鶴来高校から経法大に進み、1 回生の時は近くの白翠寮に住
み、2 回 3 回生の時は八戸ノ里スイミングスクールで住み込みアルバ
イトをしていました。卒業後、地元の食品スーパーに就職し、12 年
後に（株）山下ミツ商店を設立し、現在に至っております。
尊敬する人物はアントニオ猪木です。好きな言葉は本学創設者であ
る金澤尚淑博士の座右の銘「汝在るところ全力を尽くせ」です。北
陸の校友の皆様と交流したいと願っております。お気軽に御連絡下
さい。hiroki@mitsu102.co.jp



Hello!

全国 10 支部 支部長をご紹介します!



福岡支部長 入嶋 修一

こんにちは、福岡支部の支部長をしております、20 期の入嶋修一と申します。
この 2、3 年、コロナ禍において支部活動をし
たくても自粛を強いられ歯がゆい思いをして
おりましたが、少しずつ支部の方も様々な動きが出来る運びとなり
ました。同じ大学に通った同志との思い出話、変わりゆく流れと変
わらぬ伝統をみんなで語り合えるような会にできるよう、福岡支部
を通して伝えていきたいと思ひます。会合の往復はがきが届いたら、
さあ君も一歩踏み出そう!!



岡山支部長 大平 晋司

今年の 4 月から新たに岡山支部の支部長に
就任しました、法学部 36 期生の大平晋司です。
岡山で建設業許可業務を中心とした行政書士事務所を経営
しております。起業、独立を目指されている方を応援して
おりますので、遠慮なくご相談いただけたらと思ひます。



東京支部長 福岡 慎吾

昭和 47 年に生まれ、広島県出身、
広陵高校卒業後、本校へ入学致しました。
卒業後、地元に戻り広島に本社を置く企業に就職し、
平成 7 年に東京支店へ配属され、
平成 30 年に校友会東京支部長になり現在に至ります。
関東にお住いの皆様、また旅行や出張に来たよという方、
是非交流して豊かな時間を過ごしましょう。
今年は 10 月に支部総会を開催する予定です。
ご参加お待ちしております。



高知支部長 岩井 司

大阪経済法科大学校友の皆様、こんにちは。
私は高知支部長の岩井司と申します。
10 期生で法学部に在籍しており、
クラブ活動は空手道部でした。授業を受けた記憶
より毎日の稽古でしんどかった思い出ばかりです。(笑)
コロナの感染も落ち着き、いつもの生活が戻りつつあるのではない
でしょうか。高知支部は土地柄、「来るもの拒まず去る者追わず」飲
みにケーション重視で楽しく活動しておりますので、気軽な気持ち
で参加してみてください。



香川支部長 石塚 央

香川支部の石塚央（ひろし）です。
在学中には、写真部と文化会本部に所属して
おり、学生時代から現在まで大勢の方々に支
えられながら多くの事を学ばせて頂きました。
その様な経験から支部活動をしています。
在学生と校友会との繋がりを大切にすることは、
先輩として後輩に対し、何か役に立ちたいという想いと、
校友会の活動を担う後輩を育てるという事でもあります。
香川支部の方々ならびに、校友会役員の皆様には感謝申し上げます。
今後とも宜しくお願い致します。



三重支部長 濱口 元洋

この度、支部長を拝命しました
濱口元洋（経済学部 7 期生）と申します。
校友会発展のため一生懸命精進致しますので、
ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。
好きな言葉「One for all, All for one」
引き続き、支部役員 11 名（男性 9 名、女性 2 名）各世代バランス良
く構成されたアットホームな雰囲気、役割を分担して校友会活動
に取り組んで参ります。愛知支部、校友会本部との連携で岐阜県地
域支部設立に向けての東海地区の校友との交流も積極的に図って行
きたいと思ひます。



愛知支部長 岸 泰至

愛知支部長の岸泰至です。法学部 12 期生です。
愛知県名古屋生まれの 59 歳です。
1 回生の時は入寮していましたが、2 回生から瓢箪山駅近くの文化住宅
で一人暮らしをはじめました。部活は体育会テニス部に 4 年間所属。
毎日キツイ、ツライ練習でしたが、この経験を通して忍耐力が鍛え
られ、戦績は寂しいものですが、今ではそれともとても良い思い出
です。アルバイトは色々経験しましたが、朝早くからの豆腐屋さ
んが一番印象に残っています。卒業後は地元に戻り就職し、そこで
修行を積んだ後に父親の経営する（株）愛洋産業に入社。今は社長とし
て毎日奮闘しています。愛知支部は「君に会えて良かった」を合言
葉に和気藹々と交流しています。



INTERVIEW インタビュー

1



ホリスティックメディカルジャパン代表

尾崎 貴汎 (卓宏) さん

経済学部 16 期生

大阪電気通信大学高等学校出身

出会いが人(人生)を変える！

大阪経済法科大学校友会公式 Facebook グループのメンバーに対し、仕事で充実した毎日を楽しそうに発信している校友がいます。それが大阪市天王寺区にあるホリスティックメディカルジャパン代表の尾崎貴汎(卓宏)さんです。鍼灸師・柔道整復師・スポーツ科学修士(大阪体育大学)・メンタルコーチと多彩な肩書きをお持ちです。楽しく働く秘訣をお伺いしたくインタビューしてきました。

インタビュアー：副会長 山下 浩希

コンプレックスの塊

山下：尾崎さんとは Facebook で繋がってましたが、改めてはじめまして！今日はよろしくお願ひします。

尾崎：よろしくお願ひします。

山下：早速ですがまず、尾崎さんの少年時代から大阪経済法科大学入学までをお話ください。

尾崎：子供の頃から勉強が嫌い、苦手・太っててスポーツも出来ない・いじめられっ子という、三拍子揃ったコンプレックスの塊でした(笑)。高3の冬になっても進路を決めることができないまま卒業し、友人の父親が役員をしている会社でアルバイトを始めました。その後ボウリング場でアルバイトをしていましたが、20歳の秋になり将来を悲観した母が知り合いの病院の先生に相談し、そこに半強引に連れていかれました。そこで先生から「とりあえず大学に行きなさい！」と言われ入試まで数か月しかなく、先生の家に住み込んで猛勉強し、大阪経済法科大学に合格できました。その猛勉強の合間に腕立て・腹筋・スクワットもしていたら80kgの肥満体型から20kg 痩せ、入学時には勉強・スポーツもそこそこ出来るようになり、高校時代とは別人になってました(笑)

勉強の仕方が分かった！

山下：先生のお陰で、これまで解らなかった勉強というものが必要・意味・仕方が解り勉強が面白くなりました。そこで「何かチャレンジしよう！」と簿記3級の勉強を独学で始めて、合格しました。続けて2級も取り2回生の時には宅建にも合格しました。この体験で「何事も本気で取り組みチャレンジすれば必ず成果がでる」と確信を持てるようになりました。

ポジティブ思考への転換

尾崎：今改めて振り返ると、その先生との出会いが人生のターニングポイントになりました。その先生は、自分の将来の夢・目標・姿を具体的に文字や絵に描いて「ワシはこうなるんや！」とイメージし行動する『成功脳』の持ち主でとにかくポジティブ。物凄く影響を受けました。ですから、先生に会わせてくれた母には感謝しております。

卒業後は宅建の資格を活かす為不動産会社に就職しました。その後、病院の事務局に転職。院長から「鍼灸の学校に行かないか」と言われたんです。僕はやるか？やらないか？の判断基準は楽しいか？楽しくないか？なので「僕、実は鍼も出来るんです」って名刺交換したら面白いなと思いチャレンジしました。

鍼灸師の資格を取得し、知り合いの大手フィットネスクラブの一角を借りてコンディショニングルーム(鍼灸院)を数カ所開設し、経営を始めました。その10年後、柔道整復師の学校に進学し地域密着型の鍼灸接骨院も開業しました。

そんな中、トレーニングに来ていた柔道家の秋山成勲さんを鍼治療するきっかけがあり、それから毎日秋山さんにコンディショニングを施す中で気に入って頂き、「今度、社会人柔道の大会があるので一緒に行ってくれないか」と言われたのが、現在のトレーナー人生の始まりです。それから秋山選手とは20年以上のお付き合いになります。

その後、プロ野球の阪急・阪神で活躍し生駒で整体院をやっておられた南牟礼豊蔵さんと知り合い、マスターズリーグでのお仕事を紹介してもらい、10年間トレーナーをさせて頂きました。この御縁をきっかけにプロ野球OBクラブ、そこから名球会、女子プロ野球へと活動の場が繋がり、今年5月から6月にかけて香港で行われた第3回BFA女子野球アジア杯カップにも侍ジャパン女子野球日本代表のトレーナーとして帯同し、見事優勝することが出来ました！

山下：御縁を活かしたんですね。

尾崎：鍼灸接骨院でのメディカル分野から体を作るフィジカルの分野に進み、現在は成功するために必要なメンタルの研究をしています。また、人に教える仕事をしたいという思いから通信教育で教員免許も取得し、大学・専門学校の数校で非常勤講師もしています。講師をしながら学生と接していると、夢・目的・目標を持って入学したはずなのに、覇気も無く熱中もせずチャレンジもしない学生が少なくありません。そんな学生達に一つの事に一生懸命取り組む事、チャレンジすることの楽しさを伝え、成功体験を積み手助けが出来るよう努めています。

意識の低さは知識の低さ

尾崎：みんな成功者になりたいと思っているのに、いつの間にかネガティブ思考になってしまっています。ポジティブ思考に切り替える方法を知らないだけなんです。人間って思い込みの動物なんです。「出来ない」って思い込んでしまっているだけなんです。起こった出来事をプラスに捉えるか？マイナスに捉えるか？どっちがいいか？僕はそれを若い子たちに教えてやりたい。これが僕の使命です。是非、母校の学生にも伝えたいですね。こんな僕も元々は「チーム後ろ向きリーダー」と言われていた人間でしたから(笑)。

山下：今日はありがとうございました。お話を聞いて僕自身もワクワクする凄く楽しいインタビューになりました。益々の御活躍をお祈りします。

2時間のインタビュー。「出会い」「御縁」「楽しい」「好き」「お陰様で」「恵まれて」「運がよい」「幸せ」・・・等々、ポジティブ言葉の雨霰。楽しく生きる秘訣が解りました。



©SAMURAI JAPAN



INTERVIEW インタビュー

2



有限会社かんずり代表取締役社長

東條 昭人さん

法学部 18 期生

新潟県立新井高等学校出身

新潟妙高の伝統発酵香辛調味料を世界に！



新潟県妙高市に、地元で古くから伝わる伝統発酵香辛調味料である『かんずり』を、日本全国に留まらず、海を渡って世界に輸出している会社があります。その会社を営んでいるのが東條昭人さん。最近も日曜朝放送の『がちりマンデー』に取り上げられる等、経営者としての評価も高い東條さんに、学生時代と世界制覇への展望を語っていただきました。

インタビュアー：副会長 山下 浩希

大人になったら社長になる！

山下：今日はよろしくお願ひします。まず、東條さんの少年時代から大阪経済法科大学での生活についてお話をお願いします。

東條：祖父と父が経営していた会社に通っていた幼稚園の隣にあり、毎日幼稚園が終わると自宅に帰らず会社に立ち寄って遊んでいました。その時から父や周りの人から「将来は会社の跡継ぎになるんだよ・・・」と言われて育ち、子供心に自分でも「大人になったら社長になって会社を継ぐんだ」と思っていました。

体育が得意で陸上水泳ソフトボール等、小学3年の頃からいろんな大会の代表に選ばれて出場していました。中学に入ると先輩に憧れて始めたバスケットにのめり込みました。大学は親戚が多い関東の大学に進学すると監視されるので(笑)商人の街大阪にある経法大にスポーツ推薦で進学しました。バスケットボール部に入部し頑張っていました。3回生の時に足を挫いてしまいリタイア。バスケット部も退部しました。途中で退部したのでOB会にも入れず、当時の部員達と繋がりが無いのがちょっと寂しいです。

新潟の親元から離れ大学近くにある、10名位のコじんまりとした坂本寮に下宿していました。みんな一日中部屋のドアを開け放し、お互いの部屋に勝手に出入りして和気藹々と暮らしていました。坂本寮では「21時になっても帰ってこなかったら、その人の夕食は誰が食べてもいい」というルールがあり、みんなで食事の取り合いをしたのも楽しい思い出です。高校時代からバイクが好きで、アルバイトでお金を貯めて大きなバイクを買い、バイク仲間と夜中に阪奈道路を走ったり、神戸まで行ったりしていました。その頃のバイク仲間とは現在も一緒にツーリングをしていて、先日も「四国を走ろう」と誘われました。仕事が忙しくて行けませんでした(笑)。勉強の方は高校時代よりも真面目に取り組んで、単位もしっかり取り、英語をもっと学びたかったので短期留学制度を利用してハワイ大学に留学もしました。またその頃はちょうどパソコンが導入された時期で、パソコンを習う授業にも積極的に出席していました。

チャンスを見逃さない！

山下：社会人になってからは？

東條：将来家業を継ぐ事を前提に、名古屋に本社を置く食品メーカー『御漬物の丸越』という会社に就職し、神奈川県にある関東支店に配属され、営業の修行をしました。主にデパートやショッピングセンターにテナント出店しているFC加盟店さんに商品を卸したり、デパートでの食品催事販売を担当していました。就職して2年後、父が県議選に出馬することになり「会社が疎かになるから帰って来い」と言われ、家業の『有限会社かんずり』に入社しました。当社は、私の祖父が昔から地元の各家庭で作られていた伝統発酵香辛調味料である『かんずり』が、高度成長という世の中の変化で消えかけていくのを見て、この地域色豊かな食文化を残し全国に発信し広げようと、事業として興したのが始まりです。

地元で当たり前にならされている『かんずり』も、県外に行く初めはまったく売れず、数年後やっと東京の居酒屋さんが「これは美味しい！」と使ってくださいようになり、それがきっかけで雑誌やテレビ等のメディアに取り上げられ、一気に全国に広がったのです。当時はまだインターネットが現在のように普及してい

なかったこともあり、特に全国ネットのテレビ番組で紹介された時などは電話注文が殺到し、毎日みんな残業をしながら商品を作り、私は一日中宅配便の送り状を手書きで書いていました(笑)。当社はこのチャンス(追い風)を見逃さず、社員の増強や工場の新設などをして大量注文に対応するための体制づくりをしました。

新潟妙高から世界へ

東條：家業を継ぎ地元の青年会議所(JC)にも入会し、2016年に社長に就任しました。JC活動を通して自分のネットワークを構築していく中で海外に視察に行く機会がありました。お陰で視野が広がり、かんずりを世界に広げようと考え、展示会に参加する等して、韓国を皮切りに欧米にも輸出するようになりました。輸出先の国にはその国独自の食文化があり、まずは現地の国の人よりも現地で暮らしている日本人に知って頂けるように、日本食を扱うスーパーさんや飲食店さんにアピールし、それを足掛かりとして国に溶け込めるような仕掛け作りに努めています。

輸出には物凄くコストがかかる為、日本の数倍の売価になってしまいます。また、かんずりは香辛料なので買って下さったお客様が使い切り、再び購入して下さるまでに時間がかかります。そのため、リピート買いしてもらったという手応えも掴み難く、なかなか成果を肌で実感できませんが、有り難い事に年々販路は広がっています。それでも、まだまだ世界中に行き渡っているわけではないので、販売エリアを更に広げる余地はあると考えています。

地元にも先輩が

山下：現在の大阪経済法科大学との関りは？

東條：卒業後一度も大学に行っていないませんが、たまにWEBサイトを観て、八尾駅前にキャンパスが出来たり学部が増えたりと大学が発展している事は知っています。今度、大阪に仕事で行く機会がありましたら時間を作って大学に行ってみたいです。地元にも母校の卒業生はそんなに居ないだろうと勝手に思い込んでいましたが、SNS等で検索すると、新潟にも校友が結構いる事が分かりました。以前地元の経済団体の懇親会で一緒になった人に「僕、大阪経済法科大学なんです。経法大って知らないでしょ」って言ったら「えっ？僕も経法大だよ。後輩だね」と自分より10歳ほど年上の旅館経営をしている先輩と知り合えたりして、同じ経法大同士という事で親近感が湧いて物凄く嬉しかったこともあり、大阪までは距離も遠く人数も多くないかもしれませんが、母校卒業生の皆様と新潟でも交流したいです。

山下：是非新潟で校友の輪を広げて下さい。今日はお忙しい中、ありがとうございました。

物静かに話す東條さんの話を聞いていると、母校在学中に学んだパソコンや英語の知識を経営者になってからもしっかり活かし、将来の生産販売量拡大に対応するために10年20年先を見据えて体制を整えたりと、常に先手を打って会社を成長させてきた事が分かります。上越地方に伝わる郷土食品である『かんずり』をハイパーローカルからグローバルへ。益々の活躍を期待したいと思えます。

INTERVIEW インタビュー



西濃運輸株式会社

東 佐江子さん

経済学部 49 期生
東大阪大学敬愛高等学校出身

オブザーバー：法学部 10 期生
高知支部長 岩井 司



写真提供=空手道マガジン JKFan

校友会の支援で国際大会に出場！

文武両道を貫き学業では教員免許を取得し、卒業式でも成績優秀者として学部長賞を受賞。部活動では空手道部に所属し、空手の形という競技で校友会の支援を受け国際大会に出場するなど、今年3月に卒業したばかりの東佐江子さんにはこれまでの努力について、空手道部出身の岩井司校友会高知支部長には、校友会の学生支援への取り組みについて語って頂きました。

インタビュー：副会長 山下 浩希

負けず嫌い

山下：今日はよろしくお願ひ致します。まず、東さんは子供の頃から活発な性格の子だったのですか？それと空手の形をやるようになったきっかけも聞かせてください。

東：とにかく負けず嫌いでした。小学生の頃、一輪車が流行っていてクラスの皆が乗れるのに自分は乗れなくて・・・それが悔しくて休み時間に両膝を擦り剥いて一人で乗れるようになるまで練習していました。また周りに影響され易い性格で、高校に成績トップで入学した空手道部の同期を見て、空手だけでなく勉強も頑張ろうと努力し、卒業時には成績優秀者で表彰もされました。空手は近所にあった道場に通っていた兄の影響で、4才の時から始めました。私は覚えていないのですが、毎日泣きながら稽古をしていたそうです。空手には強さを競う「組手」と美しさを競う「形」の2種類あり、私も最初は組手でしたが、小3の時に流派の全国大会で優勝したのを機に形一本に絞りました。

中学卒業後、自宅は兵庫でしたが空手の形の有名な指導者がいる東大阪大学敬愛高等学校に進学しました。中学生の頃と違い高校時代はなかなか思うような成績を収める事が出来ませんでした。インターハイには出場することが出来ました。そして、母校には高3の時に監督が練習を見に来てくださった際にお声がけいただき進学しました。

山下：今年卒業された東さん等49期生の皆さんは、コロナ禍と在学期間が重なり大学に通えず、皆と一緒に授業を受けることができなかったり、部活動も十分できなかったと思いますが、どのようにして4年間を充実したものにしたのですか？

東：入学した時から空手だけでなく勉強もしっかりやって「文武両道を目指す！」と決めていました。しかし、目標にしていた大会がコロナ禍で中止になってしまい、気持ちに穴が開き、1ヶ月位勉強も空手も何もしない時期がありました。しかし何気なく道場に顔を出した時、小学生達が一生懸命稽古に励んでいる姿を見て「自分で決めた事は必ずやる！」と思い直し、コロナ禍という制限

された環境の中でも出来る方法を模索しながら、勉強も空手も出来る限りのことを目標に向かってやり続けました。その結果、学業では卒業式で学部長賞も頂け、空手でも昨年11月インドネシアのジャカルタで開かれた『KARATE1シリーズA』という国際大会に出場し、優勝する事が出来ました。また、今年1月ギリシャのアテネで開かれた大会に出場した際には、校友会や空手道部OB会から御支援を頂きました。本当にありがとうございました。

校友会の学生支援

山下：今、東さんのお話にあった校友会からの支援は、空手道部出身の岩井高知支部長から校友会に要請があり、幹事会で諮り実現しました。これを機に校友会として、在学生のクラブサークル活動への支援のルールと言いますか基準等を明確にしようと、岩井さんがたたき台を作って揉んでいるんですね。岩井さん、その辺りをもう少し詳しくお聞かせ下さい。

岩井：以前から自分の気持ちの中に「頑張っている学生の支援をせず、何のための校友会なんだ？」というのがあり、今回の東さんへの支援は自分も空手道部OBだったので活躍を知り要請することが出来たのですが、特定の部や個人に偏らず、すべてのクラブサークルに対し公平に支援するルールを作り、校友会としての学生支援事業を大学全体に周知し、窓口を明確にして学生からも遠慮なく支援要請出来るような、開かれた支援事業として学生達の役に立ちたいと考え提案したのです。

山下：この支援事業は大会等での成績だけを尺度とするのではなく、地道にコツコツと活動している団体や個人にも充実した活動が出来るように支援が出来たらいいですね。

空手を通して人格形成

山下：今年3月に卒業をして岐阜県大垣市に本社を置く西濃運輸(株)に就職し、空手道部にも所属して頑張ってるんですね。

東：社会人になっても空手に熱中出来る環境を与えて下さっている会社には感謝しています。先輩方も皆さんいい人ばかりで、練習は厳しいですが充実した毎日を送っています。

山下：岩井さん、後輩のこのような活躍は物凄く嬉しく誇らしいですね。

岩井：本当にそうです。私も今でも空手を続けていますが、自分の好きなことに全力で打ち込めるとは羨ましい限りです。

山下：そこまで東さんを虜にする空手の魅力とは何なんですか？

東：努力すれば自分がレベルアップしている事が実感出来る点と、継続することで仲間が凄く増える点です。特に全国大会で毎年会うライバル達は友人でもあり、お互い認め合ったり刺激をもらったり出来るので、これも空手を続けているお陰だと思っています。また、空手以外の友人も私が空手をやっている事に理解があり仲良く付き合ってくれているので、自分は人に恵まれていると感謝しています。



Zoom インタビュー写真：東(左上),岩井(下側),山下(右上)

山下：今、最も影響を受け尊敬している人物は誰ですか？

東：野球の大谷翔平選手です！大谷選手の言葉が書かれた本を買って読み、大リーグという最高の舞台上でプレッシャーの中でも実力を発揮するメンタルの強さや、野球以外の日常における人に対する姿勢等を知り、自分もそんなアスリートになりたいと尊敬しています。

山下：最後に将来の夢を聞かせてください。

東：これは会社にも伝えてあるのですが、母校で教員免許を取ったので将来は空手部のある学校で教員をしながら、私の通っていた道場の師範のように、勝つことだけでなく空手の楽しさ素晴らしさを教える指導者になりたいと考えています。一生空手を続けます！（笑）

山下：一つの事を究め、それを指導し伝える。素晴らしい夢ですね。頑張ってください。それから大阪経済法科大学の卒業生として校友会活動にも関わって下さい。

空手道部OBの岩井高知支部長を交えたインタビュー。国際大会に出場する程のレベルに達するには並大抵でない努力があったはずですが、東さんの口からは「自分は周りの人に恵まれている」という感謝の言葉が何度も出てきました。非常に謙虚で、関わる人が応援したくなるような人でした。益々の御活躍を期待したいと思います。



写真提供 = 西濃運輸(株)

第25回 校友会総会

INFORMATION



校友の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。本年度の「大阪経済法科大学校友会 第25回校友会総会・懇親会」は対面形式で開催致します。皆様とお会いできる事を楽しみにしております。どうぞよろしくお願い致します。

第25回校友会総会・懇親会実行委員会一同

◆校友会総会とは

大阪経済法科大学の卒業生が一年に一度、「母校」に想いを馳せ、同級生、同窓生、先輩、後輩、教職員と再会し旧交を温めあうイベントです。

【開催概要】

イベント名：「大阪経済法科大学校友会 第25回校友会総会・懇親会」

テーマ：～再会、そして未来への更なる飛躍～

開催日時：2023年9月16日(土) 14:30～19:30

開催場所：シェラトン都ホテル大阪

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 6-1-55

TEL：06-6773-1111

参加費：3,000円(2022年度卒業生は無料)

※オンライン開催はございません。

【プログラム】

13:30～14:30 受付開始

14:30～15:10 第一部：校友会総会(4F 浪速西の間)

15:10～15:30 休憩

15:30～16:30 第二部：講演会(4F 浪速西の間)

講師：株式会社 Kansai Collection ENTERTAINMENT 取締役社長 中川博之氏)

16:30～17:00 休憩

17:00～19:30 第三部：校友会懇親会(4F 浪速東の間)※大抽選会あり

※プログラムの内容は予告なく変更となる可能性があります。

【お申込み方法】

・QRコード申請

・FAX：072-941-8268

※FAX送信用紙は校友会HPからダウンロードしてください。

簡単オススメ！
QRコード申込



第25回校友会総会
参加申込フォーム



NEWS & お知らせ



校友会ニュース

開催済みの支部総会

4月14日(金) 広島支部総会

6月24日(土) 三重支部総会

6月25日(日) 福岡支部総会

7月15日(土) 高知支部総会

7月22日(土) 愛知支部総会



第52回経法祭

大阪経済法科大学の現役学生と卒業生と一緒に集う場所。最新の母校を雰囲気を感じられるイベントです。

【開催概要】

イベント名：「第52回経法祭」

テーマ：～ホームカミング(再会)～

開催日時：2023年11月11日(土)※時間調整中

開催場所：大阪経済法科大学 花岡キャンパス

〒581-8511 大阪府八尾市楽音寺 6-10

TEL:072-941-8268(校友会事務局)



YouTube
チャンネル



Facebook



Twitter



校友会公式SNS
アカウントを
ご存知ですか？

CHECK!



校友の皆様、こんにちは。広報部会の富山源太郎（経済学部32期生）と申します。昨年度から本格的に各SNSアカウントの運用を始めました。現在、運用している公式SNSアカウントはYouTube、Facebook、Twitterの3つです。各アカウントのQRコードは上記に記載しますので、ぜひアクセスしてみてください。

私たちの母校である大阪経済法科大学は1971年4月に開学し、今年53期生が入学しました。私たちの母校が半世紀以上存在していると考えると感慨深いですね。ちなみに、母校ホームページの中にある校友会のページに校友会報の創刊号から最新号までが掲載されておりますので、そちらもぜひご覧ください。

さて、話を本題に戻します。なぜ、私たち校友会が公式SNSアカウントの運用を開始したのかについて、少しだけ話をさせていただきます。誤解を恐れずに、一言で言うなら

「大学の人脈は最強の人脈」だと私自身が実感しているからです。「大学の友は、一生の友」という言葉があるように、世代や学部は違えど、同じ大学を卒業したというだけで初対面から一気に打ち解けることができます。これは、社会人を経験されている皆様なら共感していただける部分ではないでしょうか。また、校友会に積極的に参加されている諸先輩方には70代の方もおり、私たち（30代）では経験していないような事をたくさん話していただけます。こうしたコミュニケーションを通じて、私自身もとても成長させていただき、諸先輩方には大変感謝しております。

こうした校友会の魅力を一人でも多くの方に伝える手段として各SNSなどを使って、これからも情報発信していきますので、よろしくお願いします。

SNSでは、校友会の活動や母校の現況などの情報を発信しています。

校友会報掲載内容については、校友会事務局までお問合せください。

大阪経済法科大学校友会事務局

〒581-8511 大阪府八尾市楽音寺6-10

TEL/FAX 072-941-8268

E-mail kouyuukai@keiho-u.ac.jp

（受付時間）月・水・金曜日 10時～15時

上記以外はFAX及びメールにて

お問い合わせください。

編集後記

校友会報 vol.27 をお送りしました。「もうコロナを、しない出来ない理由にするのは止めよう」ということで、当たり前の日常を取り戻しつつあるこの頃です。今号は9月16日（土）上本町のシェラトン都ホテル大阪で行われる総会の告知を兼ねて8月に発行しました。新たに組織した広報部会の会報作成チームで何とか発行出来ましたが、いわゆるニュースを殆ど載せられなかった事を反省しています。これからは発信方法も見直し、ニュースを新鮮なまま皆様に伝えられるように取り組みます。

山下 浩希

広報部会会報 作成チーム

山下 浩希（法学部10期生）
木皮 真理（経済学部21期生）
安田 貴則（法学部29期生）
富山 源太郎（経済学部32期生）
山崎 亮介（法学部33期生）
大下 真由子（つなぐデザイン）